

要求しているかもしれない。

終り

## 夢中だった現役時代

林 毅

入学して一週間程立ち、中学時代少しが  
じつに野球をやろうかなと考えていた矢先  
が、中学時代の先輩で「秀才」であつた方々  
がハンドボール部におられたので、えらい  
人がやつたはるのやから、ええクラブやう  
らと思つて、入つてしまつた。体力的には  
自信があつたし、未知のスポートに対する  
興味から張り切つていたのだが、うわさに  
たがわず練習は敷しく、毎日、無我夢中  
で過していった。しかし、日が増すにつれて  
何に對しても自信がなくなつてきて、それ  
に加へ、生来の氣の弱さも手伝つて全く不  
安であつた。特に今でも鮮明に思ひだされ  
るのは、六月頃（一年の時）雨で練習が休  
みにならうとしていた時、先輩、津田、櫻  
本兩氏が来られ、柔道場で腕立ふせ、十五  
回余を含めた基礎練習をやつて後、土砂降  
りの雨の中を全員ミランとならんで運動場  
を十回程走つて、体のシンまで冷えきつて  
しまい、ぶる／＼震えながら家へ歸つたこ

と。夏季強化合宿のあの「元氣とみた」宣  
言に初まる猛練習、倒れた友人をあとにし  
て部屋から運動場へいく時に胸にわく一種  
独特の感情、僕自身、ぶつたおれたり、目  
の前がま／＼くらになり芝生のあつた高台の木  
陰で頭に水をかけられたりした。全くすこ  
い練習であつた。だが上級生の良きリード  
のもとに、何とかがんばつてついていつた  
おかげで、フオワードの一員として二度の  
優勝経験ができた。初優勝した当時、本當  
にうれしくて涙が出そうになつたり、夜、  
決勝戦が思ひだされて眠れなかつた。二年  
になり三年が引退して、それまで選手でで  
ていた三人を除いて新しい陣容になつた。  
「我野、西条等が抜けたら高津もこれであ  
かんやう」と他校のものにいわれたのには  
、主将であつた自分ばかりか他の部員も何  
クソとフアイトを燃した。同じ学年には、  
名キーパー増田君、攻守に活躍してくれた  
田中君、小さいながらバツクで奮闘、マネ  
ージャーをやつてくれた渡辺君、眼鏡をか  
けたクラブ一の秀才、森君、おしやれで足の  
走い植村君、フアイト満々の上島君、秀才  
の井口君や斉藤君、それに土田君などがい  
た。技術面の不足はチームワークで補おう  
と練習に励んだ。主将で無理なことはいつ  
たが、皆黙つてついてきてくれた。ありが



たかった。結果的にみると、新人大会は一  
点差で二位、府民体育祭三位で近畿大会に  
出場した程度に止まった。決して満足のゆ  
く成績ではなかつたが一生懸命たつたこと  
は確かである。今でもハンドボールを続  
けておられることは、高校時代での苦しかつ  
た練習のおかげであり、今から考えると先  
輩のシツタゲキレイと共にありがたいこと  
である。

## 全日本室内大会を見て

上田孝

今、テレビで全日本室内ハンドボールを  
見てきた。テレビに写つた最初は愛知紡績  
対日本体育大学の試合、9対6 愛知紡績が  
勝つ。おめでたい。何故かというは大学の現  
役より実業団が勝つたから。これは女子の  
部の優勝戦であつた。次の男子の決勝は、  
大崎電機工業対東京芝浦工大、テレビで見  
たのは12対10で大崎がリード、後残り時間  
三分でテレビ中継は終わったが恐らく大崎の  
勝だらう。これは有難い。我高津クラブは  
芝浦大と数年前に試合をして36対0で敗れ  
たのを憶えている。それ以来私は芝浦大を  
憎い奴と思つてきた。でも今日の試合を見  
ているととてもフェアで紳士的である。で

も、私は実業団の大崎電機を応援した。自  
分自身に つながらるからである。芝浦大が敗  
れたのはハンドボールを普及させるための  
手段であるかもしれぬ。でもスポーツに  
関する限り、私としてはその様なことを考  
えたくない。大崎電機工業は実力で優勝し  
たのである。実に立派である。私自身事業  
に成功してこの様な優秀な地位を持ちたい  
と常々思つてゐる。我々高津クラブがかつ  
て足許にも及ばなかつた芝浦が実業団に敗  
れたのだ。私も必ず成功して優秀なチーム  
を養へる様に奉仕する。諸君に頼む。実績  
において援助の面に於て応援してくれる様  
に。必ず、ハンドボール界において一派を  
なせとげてみることを約束する。今年の室  
内ハンドボール大会で、愛知紡績と大崎電  
機に優勝の栄冠が上つた様に私の事業にも  
スポーツ面で大きな誇りを持ちたい。  
ケチな根性じゃなく堂々とやつてもらい  
たい。私が必ず後押しする。  
現実には念社には、入つて働いてゐる人が  
親のスネかじりの大学生に勝つたというこ  
とこそ大いに意義がある。

(1961.10.25)

終